

学校 教育 目標	〈わくわく どきどき みんなの笑顔〉 自分らしさを生かし、学び合う仲間や地域と共に成長します ○主体的に課題や問題を解決し、思いや願いの実現が図れる子どもを育てます。(知) ○より良いコミュニケーションを図りながら、「豊かな人間関係」を育む子どもを育てます。(徳) ○規則正しい生活を心がけ、自他の生命や健康を大切にすることを育てます。(体) ○人とのふれあいを大切にし、自分たちのまちを愛する子どもを育てます。(公) ○豊かななかかわりを通して、広い視野で物事をとらえる子どもを育てます。(開)					
	学校 概要	創立 41 周年	学校長 清水 康男	副校長 上山 勝平・山本辰雄	2 学期制	一般学級: 9 個別支援学級: 3
児童生徒数: 248 人 主な関係校: 並木中学校 富岡東中学校 並木第一小学校 並木中央小学校						

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	並木中・富岡東中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <コミュニケーション能力> <自分づくりに関する力>	富岡東中学校 並木中学校 並木第一小学校 並木中央小学校 並木第四小学校	「聴く力」「発信する力」を身に付けた子ども ・相手(他者)を受け止め、自分の考えを深めていくことのできる「聴く力」を意識し、日々の教育活動を行う。 ・特別支援教育の充実を重点として、自分と相手(他者)との関わりの中で、考えの共通点や相違点を認め、自分の思いや考えを相手に伝えられるように支援する。 ・「あいさつ運動」を通して児童生徒の目を地域に向け、自分と相手(他者)とのコミュニケーションについて考える機会を設ける。

中期 取組 目標	○教育目標の具現化に向けて、子ども・教職員・保護者・地域が一体となり、「豊かな人間関係」を育み、信頼と愛着がもてる学校づくりを目指します。 ・子どもたちが楽しいと思える学習を行い、豊かな心、健やかな体、確かな学力の育成に努めます。 ・自尊感情や自己有用感を育むことにより、自分を大切にすることを育てます。 ・多面的多角的な見方や考え方ができる子どもを育て、多文化共生の学校生活を目指します。 ・教職員相互が啓発・連携、協力しながら教師としての資質・指導力の向上に努め、チーム並四として学校力向上に努めます。 ・家庭・地域と連携し、学校支援・地域連携本部「なみよんFANくらぶ」との密な連携を図りながら、子どもたちが安心して学べる学校づくりに努めます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 生きてはたらく知 担当 学習指導部	○昨年度の学校分析を生かし、YPアセスメントを活用した個々の見取りをベースに、児童相互のコミュニケーションを大切に授業づくりに取り組むことにより、資質能力の育成に向けた学習の在り方について、授業研究を実施していく。
<b>徳</b> 豊かな心 担当 人権委員会・道徳部	○人権教育、道徳教育並びに特別活動などを通して、認め合う人間関係づくりを、さらに深めていく。 ○たてわり活動を人間関係づくりの基盤とするため、活動機会や場面を、年間を通して活動の流れが続くように位置づけ、活動内容を充実させていく。
<b>体</b> 健やかな体 担当 体育・保健・栄養部	○体力テストの結果の分析とカリキュラムに位置付けられた体育、保健、食育の指導を通して、心と体のバランスの取れた成長を支えていく。 ○体育学習内容の確実な実践と児童会を活用した体カづくりプランの実践を行っていく。
<b>公 開</b> 地域連携 担当 教務部	○学校運営協議会の活性化を図り、地域協力者との連携を基に、開かれた学校づくりを目指す。 ○学校支援・地域連携本部「なみよんFANくらぶ」を中心に、学援隊や学びタイムの充実を図る ○コロナ禍の回復により、地域ボランティアによって支えられてきた学校行事の見直しと再構築を図る。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	○並四小いじめ防止基本方針をベースとした児童理解を確実に推進し、アンケートの確実な実施も行いながら、いじめの早期発見早期解決に努める。 ○教職員の意識を高く維持するために、いじめ防止研修や人権研修を定期的に行っていく。
<b>人材育成・ 組織運営(働き方)</b> 担当 教務部	○教務部を中心としたメンターチームや初任者の育成が定着してきていることから、教科指導に加えて、事務処理の効率的な処理を指導していく。 学校用グループウェアの活用により、情報の伝達と意見やアンケートの集約を行うことにより、集合の会議や打合せを減らし、個々の時間を確保していく。
<b>地域学校協働活動</b> 担当 教務部	○学校支援・地域連携本部「なみよんFANくらぶ」との連携により、地域ボランティアや地域の団体との交流による行事を充実させていく。 ○なみよんFANくらぶが地域ボランティアによる放課後学習支援が活性化してきたことから、学習の目的等を明確にした活動を構築していく。
<b>特別支援計画</b> 担当 特別支援委員会	○特別支援コーディネーターを中心にカウンセラー、地域療育センター等の機関との情報共有・交換が密になってきている。今後も個別支援計画にも反映し、個に応じた指導の充実に向けて「努めていきたい」。 ○保護者に寄り添うよう相談窓口を広く設け児童の困り感の改善に努める。
<b>児童指導</b> 担当 児童指導委員会	○児童指導専任を中心とした体制を堅持しつつ、教職員個々が児童理解のスキルアップを目指す体制づくりを行っていく。 ○並四小スタンダードの確実な定着を更に進め、安心・安全な集団づくりを目指す。
<b>持続可能な並四 教育活動の推進</b> 担当 教務部	○最終学年のリーダーを目標として、各学年のあるべき姿を設定し、教育活動全体の中で学年目標の具現化を目指す。 ○並四小リーダーの資質を明確にし、最高学年を迎えるまでに、教職員全ての関りで育てていく体制を構築する。